

# 市議会だより

第37号  
2013.5.1



健全財政を堅持し  
最小の経費で最大の効果を

## 特集

## わかりやすい「議会だより」・開かれた議会へ

第1回定例会審議報告	2~3
第1回定例会総括質疑	4~5
予算特別委員長報告	6
提出案件の審議結果	7
常任委員会レポート	8~9
一般質問(会派代表質問)	10~15
一般質問(個人質問)	16~19
あすの東御市 話題を追って	20~21

行政視察報告	22~23
私の一言	24

### 表紙の写真 「白鳥神社 浦安の舞」

海野宿の白鳥神社では、春の例祭に神前において巫女による浦安の舞が奉納されます。今年は4月7日、神社拝殿にて氏子役員の皆さんが見守る中、優雅な舞が奉納されました。

# 健全財政を堅持し 最小の経費で 最大の効果を

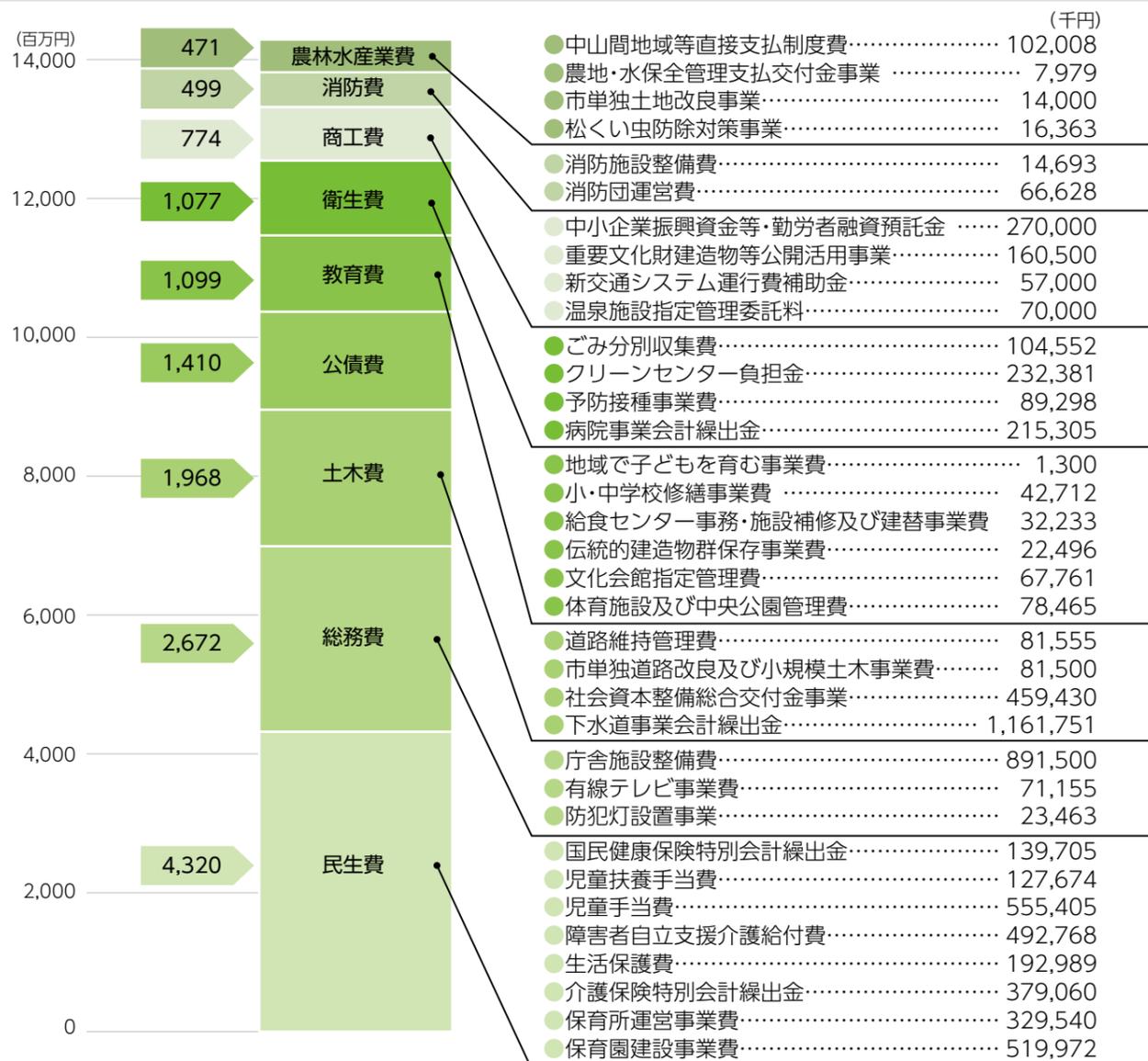
合併10年 節目の年

平成25年度一般会計 予算 144億8500万円

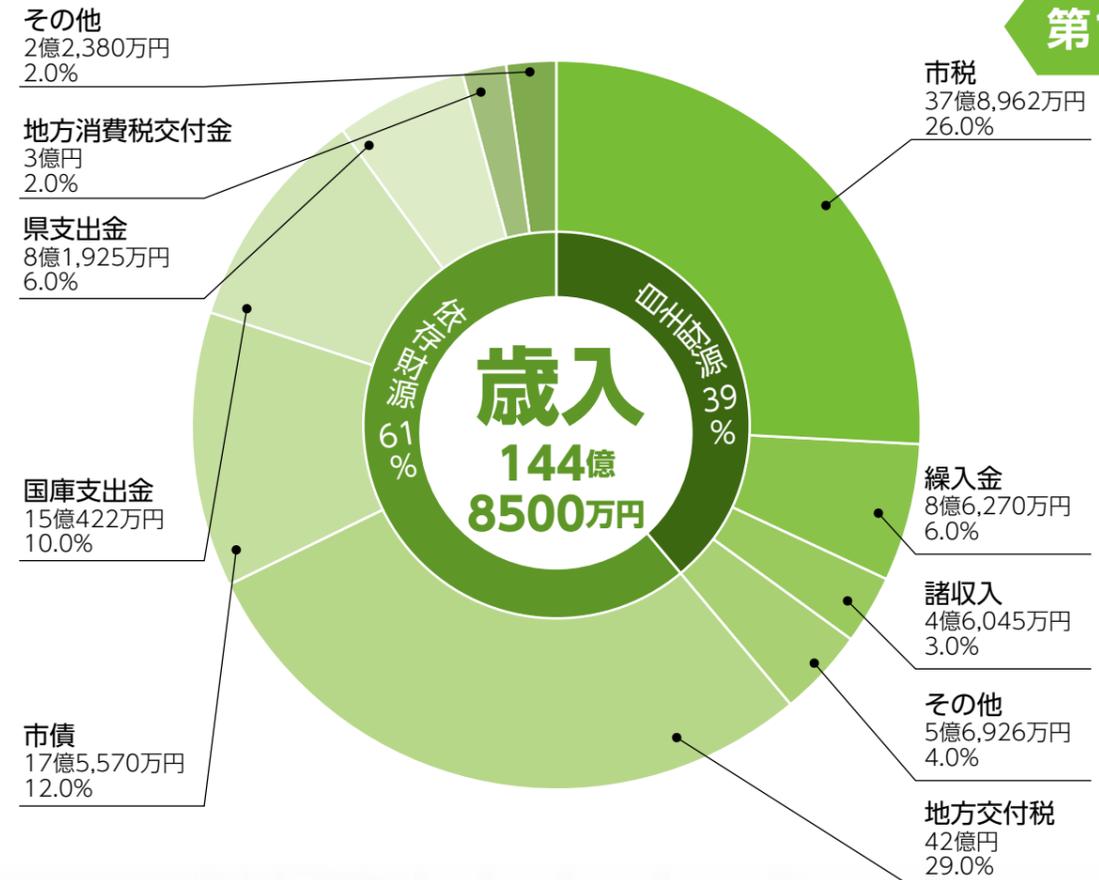
## 会計別予算総括

一般会計			特別会計		
会計名	予算額	前年比 (%)	会計名	予算額	前年比 (%)
一般会計	14,485,000	99.6	工業地域開発事業	259,660	67.4
特別会計			後期高齢者医療	259,300	101.7
国民健康保険	3,373,000	105.8	合計	6,612,207	103.4
介護保険	2,718,000	106.0	総計	21,097,207	100.7
地域改善地区貸付	2,247	96.5			

## 一般会計 歳出 主な事業内容



## 第1回定例会



平成25年度第1回定例会は、2月21日より3月22日までの30日間にわたり開催されました。平成25年度予算、平成24年度補正予算、条例制定・改正のほか教育委員会委員の任命、固定資産評価審査委員の選任など議案51件が提案され、慎重審議の結果全て原案通り可決しました。



# 総括質疑

# 県・東深井線の延伸工事が争点に

## 平成25年度予算、補正予算、条例の新設など原案通り可決

県・東深井線延伸計画をめぐる議論伯仲

一般会計予算案には、市道県・東深井線を東に延伸し、求女川までの道路建設費が計上されました。この道路は最終的には県立東御清翔高校の敷地を通り、東御消防署までつながるものです（概念図参照）。これについて修正案が提出されるなど活発な議論がかわされました。



### 県・東深井線道路計画

**問** 県・東深井線新設工事について長野県教育委員会と合意されているのか。

**答** 県・東深井線は工事費1億6500万円、用地費3900万円だ。市役所西の交差点から求女川まで東に60メートル実施する。県教委とはおおむね了解されている。

**問** 県との交渉が具体的にになってから工事を行った方がいいのではないか。

**答** 地権者の皆さんのご理解を得られるところから着工する。

**問** 市民の皆さんは心配している。もうちょっとわかった段階で工事を始めても遅くはない。

**答** 契約するには財政的な裏付けが必要であり予算計上したものだ。

### 増える生活保護世帯

**問** 生活保護受給者の現状はどうか。

**答** 平成23年度は相談93件、申請20件で差し引き13件増加している。平成24年度は相談106件、申請23件、受理22件。現在まで13件増加している。受給者のうち85%が高齢者や母子家庭であり一度生活保護になるとなかなか抜け出せない。

**問** 市民に寄り添った対応していただきたい。相談もオープンスペースでなくプライバシーが保護される措置を取っていただきたい。

**答** 個室を使うなど気配りのある対応を徹底して行っていく。

### 太陽光と住宅リフォーム

**問** 太陽光発電の昨年の実績はどうか。普及率はいくら。

**答** 平成25年2月27日現在223件、1014キロワット、補助金は1863万4千円。普及率は7%だ。

**問** 住宅リフォーム補助金の経済効果は。

**答** 平成23年度で補助金が1502万円に対して、投資額は1億2421万円。経済効果は8.26倍となっている。24年度は1億95万円、1億2515万円、7.38倍だ。

### 保育園周辺道路整備

**問** 新しい滋野保育園への通園路である滋野446号線の改修工事は。

**答** 滋野446号線は東御婦恋線から東に260メートル改修し、南側に歩道を設置する。平成25年度は160メートル、残りは26年度に行う。

### 小中学校への天井扇設置

**問** 小中学校の天井扇風機の設置状況はどうか。

**答** 小学校では普通教室の67%、特別教室も含めると44%。中学校では約80%だ。

### 青年就農給付金の実態

**問** 青年就農給付金の受給実態は。

**答** 7名が対象で24年度から受給している。一人あたり150万円で7名、ご夫婦はその一・五倍の225万円で4組が受給している。

**問** 就農されている方の中で子供さんもいる。保育料や給食費などの支援はできないのか。

**答** この給付金を有効に使ってもらいたい。

### 平成25年度国民健康保険特別会計

**問** 平成24年度の滞納状況はどうか。

**答** 平成24年度の滞納状況を余儀なくされている。法定外繰り入れも状況によ

**答** 1月31日現在、現年度未納分は1117人。滞納額は5063万円だ。滞納繰越分は676人で1億2179万円だ。

**問** 保険料滞納世帯は5世帯に1世帯だ。一般会計からの法定外繰り入れが実施されてきたが今年度は2千万円に縮減された。市民生活が大変な時に縮減した理由は何か。

**答** 基金が24年度末で約3億円あることを考えて2千万円とした。

**問** 基金の一部を活用して国保税の引き下げはできないか。

**答** もともと苦しい運営

### 暴力団排除条例

**問** 条例の必要性は理解できる。ただ市民に努力義務を課すものになっており、運用には慎重にしていきたいと思います。条例を制定しなければいけない状況なのか。市民のプライバシー保護への取り組みはどうか。

**答** 未制定市町村がわずかにあってきており本市として提案したものだ。暴力団活動において喫緊の状況にあるわけではない。プライバシーは運用の中で検討

**問** 市民の中には違和感を持たれる方もいる。どう認識しているか。

**答** 実際の業務を見ながら報酬引き上げの判断をしたものだ。

### 特別職の給与に関する条例の一部改正

**問** 監査委員は大変な業務であるが、公務員給与の引き下げがなされる一方で、あえて監査委員の報酬を引き上げる理由は何か。

**答** 3年前から報酬引き上げについて意見をいただいている。代表監査委員は県下19市中最下位だ。住民監査請求もあり監査委員の比重が高まっている。

**問** 市民の中には違和感を持たれる方もいる。どう認識しているか。

**答** 実際の業務を見ながら報酬引き上げの判断をしたものだ。

### 補正予算審議

#### 一般会計補正予算

**問** 温泉施設の指定管理料は従来7千万円だったが2千万円増額になっている。

**答** 緊急修繕、飲食の売り上げ不振、燃料代の高騰による水道光熱費の増大などが原因だ。

**問** 宴会などは振興公社の独自事業ではないか。

**答** 明神館と御牧の湯については契約により自主事業も委託料に含まれる。

#### 病院事業会計補正予算

**問** 一般会計予算からの繰り出しは当初2億1900万円から2億1500万円追加になっている。予算編成において甘さがあったのではないか。

**答** 病院改革プランで経営健全化分として7千万円の繰り入れルールがあるが、当初からそれを見込むことはできないので増額になったものだ。

**問** 入院収益、外来収益をどうつくり出すのか。努力してほしい。

**答** 入院や外来の目標は決して無理な数字ではない。さらに努力したい。

# 第1回 定例会の提出案件の審議結果

採決結果:◎全会一致で可決、同意、承認○賛成多数で可決 ×否決

議案番号	案件	採決結果	常任委員会審査結果		
			総務文教	社会福祉	産業建設
議案第1号	平成24年度東御市一般会計補正予算(第6号)の専決処分の承認を求めることについて	○	—	—	—
議案第2号	平成25年度東御市一般会計予算	○	—	—	—
議案第3号	平成25年度東御市国民健康保険特別会計予算	○	—	○	—
議案第4号	平成25年度東御市介護保険特別会計予算	○	—	○	—
議案第5号	平成25年度東御市地域改善地区住宅改修資金等貸付事業特別会計予算	○	—	○	—
議案第6号	平成25年度東御市工業地域開発事業特別会計予算	○	—	—	○
議案第7号	平成25年度東御市後期高齢者医療特別会計予算	○	—	○	—
議案第8号	平成25年度東御市水道事業会計予算	○	—	—	○
議案第9号	平成25年度東御市下水道事業会計予算	○	—	—	○
議案第10号	平成25年度東御市病院事業会計予算	○	—	○	—
議案第11号	平成24年度東御市一般会計補正予算(第7号)	○	—	—	—
議案第12号	平成24年度東御市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	○	—	—	—
議案第13号	平成24年度東御市介護保険特別会計補正予算(第2号)	○	—	—	—
議案第14号	平成24年度東御市工業地域開発事業特別会計補正予算(第1号)	○	—	—	—
議案第15号	平成24年度東御市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	—	—	—
議案第16号	平成24年度東御市水道事業会計補正予算(第3号)	○	—	—	—
議案第17号	平成24年度東御市下水道事業会計補正予算(第3号)	○	—	—	—
議案第18号	平成24年度東御市病院事業会計補正予算(第1号)	○	—	—	—
議案第19号	東御市暴力団排除条例	○	○	—	—
議案第20号	東御市新型インフルエンザ等対策本部条例	○	○	—	—
議案第21号	東御市市道の構造の技術的基準を定める条例	○	—	—	○
議案第22号	東御市市道に設ける道路標識の寸法を定める条例	○	—	—	○
議案第23号	東御市移動等円滑化のための必要な市道の構造に関する基準を定める条例	○	—	—	○
議案第24号	東御市準用河川に係る河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例	○	—	—	○
議案第25号	東御市移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例	○	—	—	○
議案第26号	東御市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例等の一部を改正する条例	○	○	—	—
議案第27号	東御市特別職の職員等の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	—	—
議案第28号	東御市一般職の職員等の給与に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例	○	○	—	—
議案第29号	東御市一般職の職員の退職手当に関する条例等の一部を改正する条例	○	○	—	—
議案第30号	東御市国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	—	○	—
議案第31号	東御市子育て支援センター条例の一部を改正する条例	○	—	○	—
議案第32号	東御市保育所条例の一部を改正する条例	○	—	○	—
議案第33号	東御市勤労者会館条例の一部を改正する条例	○	—	—	○
議案第34号	東御市都市公園条例の一部を改正する条例	○	—	—	○
議案第35号	東御市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	○	—	—	○
議案第36号	東御市公共下水道事業受益者負担に関する条例等の一部を改正する条例	○	—	—	○
議案第37号	市道路線の認定について	○	—	—	○
議案第38号	市道路線の廃止について	○	—	—	○
議案第39号	財産の取得について	○	—	—	○
議案第40号	財産の処分について	○	—	—	○
議案第41号	東御市土地開発公社定款の変更について	○	—	—	○
議案第42号	川西保健衛生施設組合の規約の変更について	○	—	○	—
議案第43号	教育委員会委員の任命について	○	—	—	—
議案第44号	固定資産評価審査委員会の委員の選任について	○	—	—	—
議案第45号	固定資産評価審査委員会の委員の選任について	○	—	—	—
議案第46号	固定資産評価審査委員会の委員の選任について	○	—	—	—
議案第47号	平成24年度東御市一般会計補正予算(第8号)	○	—	—	—
議案第48号	和地区保育園建築主体工事請負契約の締結について	○	—	—	—
議案第49号	中央公民館増改築(建築)工事請負契約の締結について	○	—	—	—
議案第50号	中央公民館増改築(機械設備)工事請負契約の締結について	○	—	—	—
議案第51号	中央公民館増改築(電気設備)工事請負契約の締結について	○	—	—	—
議員提出議案第1号	生活保護基準の見直しに関する意見書の提出について	×	—	—	—
陳情第67号	新教職員定数改善計画の着実な実現と、教育予算の増額を求める意見書提出に関する陳情書	採択	採択	—	—
陳情第68号	「義務教育費国庫負担制度」の堅持を求める陳情書	採択	採択	—	—
陳情第1号	ブラッドパッチ療法の保険適用及び脳脊髄液減少症の診断・治療の推進を求める陳情書	採択	—	採択	—

## 平成25年度 一般会計予算

# 賛成多数で可決

議会最終日の3月22日に一般会計予算案の採決がおこなわれ、市道県・東深井線延伸計画をめぐって2億円余の削除修正動議(櫻井寿彦議員ら2人)が提出されました。これをめぐつ

て討論がおこなわれ、修正動議は否決、原案が賛成多数で可決されました。

### 予算特別委員長の審査報告



長越修一議員

原案を可決すべきものと決定。市長の施政方針における重点施策が平成25年度の一般会計予算にどのように反映されているかの各常任委員会の予備審査にもとづき審査しました。

討論では、県・東深井線道路整備事業について、当初予算に計上する是非について意見がありました。その後の採決では、可否同数でありましたので、委員長として原案を可決すべきものと採決しました。

### 付帯意見

- 自主財源である市税収入の確保は喫緊の課題だ。中央公民館の改築、保育園建設などの施設整備が進められる中で経費削減に向けさらなる努力を。
- 市内あげての生涯にわたる切れ目のない健康づくりが求められる。これは医療費の削減、財政の健全化にもつながる。市民行政とも一体となって健康のための予防事業を推進されたい。
- 燃やすごみの3～4割が生ごみという現状から生ごみの処理に関する実態調査を行ない、実現性のある対策を早急に図られたい。
- 国、県及び関係団体と連携を密にし、遊休荒廃農地面積の減少に努力されたい。復旧した農地が有効に活用されるよう農業担い手対策等を合わせて進められたい。

### 修正動議

#### 市道県・東深井線計画関連予算を削除する修正動議の提案理由

第一に、この事業は15億円のうち70%が県立高校の用地費と建物移転補償費である。県教委はおおむね了解とのことだが、多額の移転補償費が未確定の中での工事着手は大きなリスクが懸念される。

第二は、工事实施にはまだ十分な工期があり、県教委との交渉を早急にすすめ、合意ができた段階で改めて予算を計上し、議会で是非を問うのが本来の姿である。

予算特別委員会では可否同数で委員長採択に 付帯意見4項目

## 市道県・東深井線工事費等の削除修正動議提出、賛成少数で否決

### 原案 賛成



井出進一議員  
合併10年の節目として第

一次総合計画を締めくくり、第二次総合計画につなげる意義ある事業が適切に継続された予算として高く評価する。

自主財源である市税の確保は大きな課題であり、定住促進など施策の展開をいっそう望みたい。

付帯意見を市政に反映することを要望する。

### 原案 反対



若林幹雄議員  
県・東深井線事業に関

し東御清翔高校の用地取得、建物移転補償費などの詳細が明らかになっていないなかで予算の検討はできない。大幅な予算増が懸念される。

第二期事業の調査結果も議会に報告されていない。県との交渉をすすめ、予算の概要が固まった段階で着工しても遅くなく、拙速に工事に入るべきではない。

### 修正案 賛成



蓮見喜昭議員  
市道県・東深井線計画に

関し、県との合意形成がなされていない状況では大きなリスクが懸念される。まずは県教委と合意契約に全力を尽くし、あらためて議会に信を問うという形が市民にも分かりやすい。現状では今回の事業を判断するには十分なデータが与えられていない、全体像があら

### 修正案 反対



柳澤旨賢議員  
市道県・東深井線事業の

調査費が昨年可決され、測量設計がなされてきた。今回は用地交渉にお金をかばんにいれて交渉するための予算の計上だ。

委託調査の内容について議会に報告を求める手続きもとられ、そうした手順を踏んで今すぐめられようとしている。工事費用地補償費予算は認めるべきだ。

### 修正案 賛成



平林千秋議員  
今回、着手する県・東深

井線工事の先に高校があり、県の明示の了解なしに工事は始められない。また、高校建替え補償では当然必要となる仮設校舎などの費用負担が別枠で発生する。これまで言われてきた10億ではすまないことになる。

国への交付金申請で不実記載の疑い、高校建設費用負担は法違反の疑いもある。

# 常任委員会レポート

東御市

## 議会のうごき

- 2月**
- 4日 市議会議長会 県知事県議会議長要望
  - 6~7日 議運・広報委員会合同行政視察
  - 8日 川西保健衛生施設組合議会
  - 13日 長野県後期高齢者医療広域連合議会  
佐久水道企業団議会  
議会運営委員会
  - 14日 上田広域連合議会定例会
  - 20日 平成25年第1回定例会開会
  - 21日 東御市土地開発公社理事会
  - 22日 上田広域連合議会定例会
  - 27日 議会全員協議会・議員研修会  
議会広報調査特別委員会

- 3月**
- 1日 神川沿岸土地改良区通常総代会
  - 2日 東御清翔高校卒業式  
小諸看護専門学校卒業式
  - 3日 湯の丸スキー大会
  - 4日 北佐久老人福祉施設組合議会
  - 5~6日 第1回定例会一般質問
  - 8日 第1回定例会一般質問
  - 11日 第1回定例会総括質疑
  - 12~14日 第1回定例会常任委員会
  - 15日 第1回定例会予算特別委員会
  - 18日 市内小学校卒業式  
社会福祉協議会理事会
  - 19日 市内中学校卒業式
  - 21日 第1回定例会正副委員長会議
  - 22日 市内保育園卒園式  
滋野保育園・東保育園閉園式  
第1回定例会閉会
  - 25日 上田市東御市真田共有財産組合議会  
東御市振興公社評議員会  
議会広報調査特別委員会
  - 26日 小諸市外二市御牧ヶ原水道組合議会
  - 27日 北信越市議会議長会幹事会

- 4月**
- 2日 滋野保育園竣工式 市内保育園入園式
  - 4日 市内小・中学校入学式
  - 4~5日 北信越市議会議長会定期総会
  - 5日 議会広報調査特別委員会
  - 8日 上田広域連合議会代表者会
  - 15日 上下水道局開所式  
議会広報調査特別委員会
  - 22日 議会広報調査特別委員会
  - 29日 東町歌舞伎舞台公演

### 総務文教

#### 全小中学校の非構造部材の耐震点検調査を実施

本委員会は平成25年度一般会計予算の予備審査と条例4件、陳情2件の審査を行い、6カ所の現地調査を実施しました。

平成25年度一般会計予算予備審査における付帯意見は次のとおりです。

自主材源である市税の収入に占める割合は、26.2%と若干の持ち直しが見られるものの、税収の確保

#### は喫緊の課題です。また、中央公民館の改築や保育園建設などの施設整備計画が進められている中で、経費の削減に向け更なる努力をされたい。

条例4件のうち、東御市特別職の職員等の給与に関する条例の一部を改正する条例についての審議経過として、監査委員は例月出納検査、二カ月を要する定期監査、財政支援



田中小学校体育館の現地確認

団体等監査など年間86日にも及ぶ業務量があり大変さは理解できません。以前から報酬アップについて議

### 社会福祉

#### 市をあげて実効性のある健康づくりを!!

本委員会は平成25年度一般会計予算の予備審査と特別会計4件・事業会計1件・条例等6件・陳情1件の審査を行いました。現地視察は完成したばかりの滋野保育園を視察しました。

一般会計については、高齢化が進む中で医療費等が毎年増加をしております。財政を圧迫しかねない状況です。そこで市をあげて健康づくりを

#### 健康づくりを!!

推進する事が大事との提案をしました。又、広域におけるクリーンセンター建設が進む中生ゴミの減量が喫緊の課題であるとの見解に至り、生ゴミ処理の対策を講ずるべきとの意見を付しました。特別会計については、全て原案通り可決されました。国民健康保険、介護保険とも年々財政的に厳しくなる中で、「健康長寿」が基本であると考え、これ

もまた市をあげて、市民一人一人の健康づくりが大事であるとの考えに至りました。審査の中で国保特別会計に一般会計からもっと繰入れをするべきとの意見もありました。条例等については全て原案通り可決されました。審査の中で「東御市暴力団排除条例」については市民一人一人の権利に十分配慮して運用する事を付しました。陳情1件については全会一致で採択されました。



滋野保育園を視察

論されていたところであるが、何故この時期にあげるのか等、意見も出されましたが、県下全市の状況等把握する中で、可決すべきものと決定しました。

**現地調査**

- ・ 総合行政ネットワーク(LGW AN)の活用状況
- ・ Jアラートシステム
- ・ 勤労者会館の進捗状況
- ・ 図書館の利用状況
- ・ 中央公民館の現地確認
- ・ 小中学校非構造部材耐震点検調査の現地確認

### 産業建設

#### 市内の荒廃農地は495ヘクタール これ以上荒廃農地を増やさない取り組みを

本委員会は3月12日、13日に付託された一般会計予算の予備審査と上下水道事業会計、条例の新設など17議案を審査しました。

#### 県・東深井線道路計画を審議

土木費には県・東深井線の延伸事業費2億400万円が盛り込まれています。この道路は県立高校の敷地の買収が必要となります。担当

#### 荒廃農地対策の一層の推進を



柵津御堂の荒廃農地の視察

農林水産費では耕作放棄地問題

が議論されました。現在市内には495ヘクタールにも及ぶ荒廃地があり、山林・原野化しているところもあります。これ以上荒廃農地を増やさない取り組みを求める付帯意見を全員の賛成であげることになりました。

商工費では市内にある4つの温泉施設の運営問題が話し合われました。

その他、老朽化した橋梁を長持ちさせる長寿命化事業、新しい滋野保育園建設に伴う周辺道路の整備などについての説明を受けました。

代表質問項目

太陽と風の会〈櫻井寿彦〉

- 元気な自治体の指標でもある人口増加に向けた対策は
- 遊休荒廃農地の活用で6次産業の振興を図っては
- 地域の要望に応えられるまちづくりの状況は

信政会〈柳澤旨賢〉

- 舞台が丘整備計画について
- 保育園建設について
- 財政見直しについて
- 第2次基本計画について
- 生ごみ堆肥化について

さわやかな風の会〈依田俊良〉

- 行政改革について
- 小学校区単位の地域づくりについて
- 東御市教育の在り方について

公明党〈依田政雄〉

- 施政方針について
- 災害に強いまちづくりに向けて天井等落下防止対策の加速化について
- 地域主権改革における「義務付け・枠付けの見直し」に伴う本市の条例制定の考えと進捗状況について

高志会〈町田千秋〉

- 施政方針について

ひまわりの会〈横山好範〉

- 第二次東御市総合計画の策定について
- 東御警察署の設置について
- 安全・安心、元気なまちづくりについて
- 農業振興施策について

日本共産党〈平林千秋〉

- 新内閣の施策への対応について
- 次期総合計画について
- 自然エネルギーのまちづくりについて
- 舞台が丘公共施設整備計画について



櫻井 寿彦議員  
【太陽と風の会】

問 人口3.5万人は花岡市政の政策は人口減少を止める施策は

答 地域バランスを考え宅地化誘導を図ることが必要

問 国勢調査で人口が増加した市町村をどの様に分析し、どう活かしてきたか。

総務部長 首都圏への通勤圏など様々ある。市は交流・定住人口の増加。子育て環

境の施策などで人口減少率を食い止めてきた。

問 舞台が丘公共施設整備第2期工事は、耐震補強だけでなく、防災の拠点に

する見直しが行われたが、この背景、経過、予算等について市民の皆様への説明が

不十分ではなかったか、また、このことに関連した裁判が行われているが、これ



柳澤 旨賢議員  
【信政会】

問 舞台が丘二期工事 説明不足でなかったか

答 事業計画や財政の見とおしを説明し公表した

されている。年齢層の傾向は。

見据え、必ず価値ある人口増施策につながる。

内自家栽培している。ソムリエから高い評価を受け注目されている。

までの経過はどうか。

見直しは、合併特例債等償還に対して交付税措置は確認できるか。

9月までには素案を決定し、10月にはパブリックコメントや地区別懇談会、市報等への掲載を通して市民の意見や提言、提案を求めている。26年1月頃を目標に策定を進めていく。

総務部長 30代から40代の割合が非常に高い。

問 ネット社会で情報は瞬時に入る。県下の芝生広場や、南面傾斜など、市の魅力をPRし、若年層の定住化を強力に図っては。

産建設部長 現在の栽培面積は12ha。8万本の製造量の目標から、10haの面積拡大が必要になる。

問 和、田中保育園建設並びに北御牧保育園の駐車場確保の現状と今後は。

健康福祉部長 和保育園は26年4月開園予定、田中保育園は27年4月開園を目指していく。北御牧保育園駐車

問 統合クリーンセンターの計画が進められているが、ごみの減量化が必要不可欠と思う。生ごみ堆肥化の取り組みはどうか。

市長 小規模の団地や民間活力をもちますように、雨水対策などを進め、地域バランスを考えた宅地化誘導が必要。

問 市内のワイナリーの運営状況と評価をどの様に捉えているか

産建設部長 3つのワイナリーがあり、ほぼ全量市

問 区からの要望に対し、事業実施の充足率はどの様な状況か

総務部長 24年度は64区から505件の要望あり、58区へ155件の事業内示をした。充足率は件数で30.7%である。

問 市税と地方交付税の

減少化が著しい地域に対する人口増施策を行政がどう責任を持つか。10年後を

遊休農地の活用で6次産業の振興を図っては

問 区からの要望に対し、事業実施の充足率はどの様な状況か

総務部長 24年度は64区から505件の要望あり、58区へ155件の事業内示をした。充足率は件数で30.7%である。

問 市税と地方交付税の

問 市税と地方交付税の



年少人口比率が長野県1の下條村  
村営の若者定住促進住宅

地域要望にこたえられないまちづくりは

問 区からの要望に対し、事業実施の充足率はどの様な状況か

総務部長 24年度は64区から505件の要望あり、58区へ155件の事業内示をした。充足率は件数で30.7%である。



整備が進む舞台が丘

問 市税と地方交付税の



依田 俊良議員  
【さわやかな風の会】

問 第3次行政改革大綱は

答 国政や地方分権の  
動向を注視して策定する

問 効率的・効果的な行政運営を目指して、平成18年に「第1次東御市行政改革大綱」を策定し、職員数の適正化や、歳出削減、事務事業の見直しなど積極的に行政改革に取り組んできた。

答 収が見込まれる。本格的な地方分権の時代を迎え、基礎自治体である市町村においては、今後ますます自己決定・自己責任の度合いが高まり財政的に自立することが、求められる。

問 25年度重点施策安心・安全なまちづくりでの、子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌ワクチン等の接種及び検査、また妊婦健康審査の取組みは。

答 市としては、重要な事業であるので、継続して実施する。

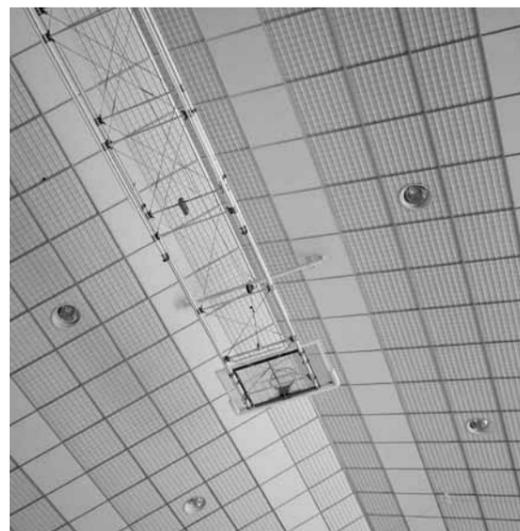
問 地域主権改革一括法の昨年4月本格施行を受け、地域の実情を踏まえた、独自性のある条例が当市においても成立し始めたところだ。条例制定の施設、公物設置管理基準等に関する条例委任への対応等の考えと進捗状況については。

答 あり最後の砦である。学校の屋内運動場等の天井等について、耐震点検と防止対策については、



市民課窓口

問 簡素で効率的な行政運営の確立については、体育施設に指定管理制度を導入し、閉館時間や予約受付時間が延長されるなど利便性の向上につながった。



平成25年度に耐震点検調査を行う天井非構造物

問 地域主権改革一括法の昨年4月本格施行を受け、地域の実情を踏まえた、独自性のある条例が当市においても成立し始めたところだ。条例制定の施設、公物設置管理基準等に関する条例委任への対応等の考えと進捗状況については。

また、水道料金等の取扱業務の民間委託や新規事業評価システムの導入などを行った。

問 地域主権の時代に対応した組織編成と職員管理の確立については、県地方税滞納整理機構の設置に伴い市税等の大口滞納案件を移管

し、積極的に滞納処分を進めた。次に、検討が必要な課題は、社会変化への対応、市民との協働、財政の健全化、組織と人の活用などが課題と考えている。

は、法の趣旨に沿って地域の実情を踏まえた行政サービス提供が出来るよう取り組んできた。条例基準の制定については、市の実情等を踏まえ、その推移に留意し、必要が認められた際には改める。進捗状況は13条例は公布した。6条例につ

いては今議会に提案した。※この他に次の質問をした

問 レットストープ等の補助金について



町田 千秋議員  
【高志会】

問 水道水源に自家発電機の設置については

答 西入新水源に自家発電機の設置を計画している

問 当市では停電すると5時間ほどで断水状態になり住民の飲料水がなくなる。

市長 指摘された電源が止まれば深井戸からの汲み上げがすべてストップしてしまう事に関しては強く認識している。本年度西入新水源に自家発電機を設置する計画をしている。今後緊急事における給水体制を構築していくか課題として認識し、一時期不便をかけますが、限られた予算の中で最

低限必要な緊急対策をとりつつあるので御理解頂きたい。

また千曲川にかかる田中橋、羽毛山橋、境橋についても市民が日常利用する重要な橋である。安全性について調査等対策は行っているか聞きたい。

産業建設部長 橋梁の安全管理については週2回の道路パトロールにより目視により行っている。

平成21年度に191橋のすべて健全度を調査した結果24橋の老朽化が進んでおり、24年度から優先度の高

問 必要がある。事前に想定される災害については早急な対策が必要であると考え

が市長の考えを聞きたい。

問 昨年末中央道笹子トンネルの天井板落下事故が発生し老朽化したトンネルや橋などの危険性が指摘されている。市内にはトンネルはないが橋梁は191橋

また千曲川にかかる田中橋、羽毛山橋、境橋についても市民が日常利用する重要な橋である。安全性について調査等対策は行っているか聞きたい。



老朽化が進む海野の眼鏡橋

個人質問項目

阿部 貴代枝

- 「少子化、超高齢社会に向かう課題に市民と市の向き合いをどうするか」について
- 「食べることの大切さを市民全体で考える」ことについて

清水 新一

- 農林業振興について
- 医療・介護について
- 学校教育について

佐藤 千枝

- 認知症の人の支援について
- 『みんなちがってみんないい』を認め合う学校教育の実現に向けて
- 安心して暮らすための消費者教育について

若林 幹雄

- 市民の声が市政に反映されるための取り組みをどう進めるのか。
- 協働のまちづくりの全学的展開をどのように行うのか。
- 環境への負荷が少ない循環型社会への推進をどう進めるのか。

三縄 雅枝

- 重点施策について
- 障害者優先調達推進法について
- 当市における公文書管理の取り組みについて

山崎 康一

- 大雪対策について
- 学校教育について

蓮見 喜昭

- 事業評価システムについて
- 上下水道の業務委託について
- 農地の有効活用について

窪田 俊介

- 統合ごみ処理施設の問題と東御市の取組みについて
- 北御牧地区の都市施設整備について
- 子育て支援について
- 小中一貫教育の取組みについて

次ページより個人質問です



横山 好範議員【ひまわりの会】

問

遊休・荒廃農地の活用対策は

答

復旧費用を補助し、関係機関と連携して解消を進める

市農業の現状及び生産振興方策と販売戦略はどのような計画か。遊休・荒廃農地の現状と活用対策はどうか。産業建設部長 農業生産額は平成13年の50億5千万円が18年には42億1千万円と減少している。農業基本条例、実施行動計画に基づき

対策を進めている。担い手農家の育成、農地有効利用、クルミ・ワインブドウの栽培拡大、都市農村交流の促進など図る。また、地域が抱える人と農地の問題を解決するため、地域農業マスタープラン（人・農地プラン）の作成に取り組んでいる。

遊休・荒廃農地は495軒あり、うち92軒は比較的容易に復旧可能でクルミやワインブドウを導入作物として、農業委員会、農協等関係機関と連携し活用を進める。市長 おいしい食材がそろった東御市農作物の魅力をとって、市外に向けて積極的にPRしていく。



整備を待つ遊休農地

統合計画に子ども意見の反映を

第2次総合計画の市民の意見は小中学生を含めて幅広い市民の意見を聞くことが必要だ。総務部長 16歳以上の市民アンケートを実施したが、今後70人規模の総合計画策定市民会議に分野別専門委員会を設置して検討を進め

る予定で、子どもを含めて市民意見の集約についてもその中で検討していく。子育て対策の充実を

し接種を推進したらどうか。健康福祉部長 国の財政支援の方向、他市町村の状況、市内医療機関のご意見などを参考に市の補助を含め検討していく。市長 必要な予防をしっかり行い、市民病院の小児科がサポートしていく体制を

さらに整えていく。※その他、東御警察署設置要請の経過と現状、防災対策の充実、旧保育園の跡地の活用について質問した。



平林 千秋議員【日本共産党】

問

舞台が丘道路計画で高校仮設校舎の負担はどうか

答

場合によっては必要になる

舞台が丘第二期事業は社会資本総合交付金の「都市再生整備計画」として実施される。国が定めた基準で「事前評価」が求められる。どうやったのか。市長 議会で決定してもらい、それが評価だ。問 国の定めている評価基準でどう評価したか聞い

ている。市は全部「適正」と報告している。産業建設部長 通常の業務の打ち合わせの中で評価しチェックシートを作成した。問 検討した過程、検討結果の記録は保存しているか。産業建設部長 特に作成していない。問 国から10億円の交付



工事が予定されている市道延伸部分

金をいただく申請だ。当然、国の基準に沿っていないならばならないものだ。こんなことで国の査察が入ったらどうするのか。25年度は求女川まで工事をするとその先は東御清翔高校だ。県との協議はどうなっているか。産業建設部長 ある程度の説明をし、おおむねの了解をえている。

問 県の意思決定にはさまざまなことが必要だ。それはいまだ未知数、未決定ではないか。それなのに東御市が一方的に工事をしていいのかという問題だ。では、これまで15億円の道路予算のうち高校の建物補償9億5000万円、用地補償7000万円と説明してきたが、変わりないか。

産業建設部長 おおむね変わりない。事業費がさらに膨張

道路工事により校舎がつぶれる。高校では毎日生徒たちが学ぶ。当然、代替校舎が必要になる。県教育長は「市道の事業主体の

東御市に適正な補償をして頂く」と県議会でも答弁している。この費用負担はどうなるのか。産業建設部長 場合によってはそういうことが必要になる。問 これまで言ってきた建替え補償とは別枠で仮設

校舎の負担がでってくる。これまでの事業費がさらに膨れることになる。到底これでは市民の合意は得られない。※その他、生活保護基準引き下げ、自然エネルギーの開発・普及、次期総合計画などを質問。



消費生活相談員の西澤美奈都さん

問 今後更に増加する認知症の人を、地域で支援する仕組みを考へてはどうか。健康福祉部長 今後、地域見守りネットワークづくりへの意識を高める試みが必要と考へる。

問 学校教育の理念に、特別な支援を必要とする子どもへの支援の充実を

問 市内に消費生活相談窓口が開設され、どのような取り組みがされているのか。市民生活部長 資格を有する相談員の配置により、相談件数は現在41件。喫緊の対応策として、市ホームページやFMとうみ等で情報提供に努めているところだ。

問 悪質・巧妙な特殊詐欺への警戒と被害予防を

問 養護学校に通う子どもを地元の学校で受け入れられる仕組みができないか。教育長 『副次的学級』を平成25年度から進める。



協働のまちづくり目指し、地域づくり計画に取り組む市民の皆さん

問 滋野地区では協働のまちづくりをどのように進めてきたのか。総務部長 多様化する地域課題を解決するには、市民と行政が知恵と力を出し合うことが大切だ。これは従来からの役割を変えるものではない。あくまでも自主的な組織だ。平成25年度は

問 北御牧へ拡大するのは、住民主体であり、行政が

問 上田広域連合ではゴミ焼却場の建設を進める中で、ゴミの減量化に取り組んでいる。生ゴミの堆肥化に取り組むべきではないか。総務部長 市役所内で検討委員会をつくり、可燃ゴミの減量に取り組む。可燃ゴミの3割から4割を占める生ゴミの減量化が必要だ。本年度に生ゴミ処理システムを決定、来年度に施設設計を進めたい。

※このほか市長の政治姿勢についてもお聞きしました。



佐藤 千枝議員

問 認知症の人を地域全体で支える見守りネットワークの取り組みができないか。答 地域見守りネットワークへの意識を高める試みが必要



若林 幹雄議員

問 協働のまちづくりをどう進めるのか。答 地域の自主的な取り組みを重視したい



阿部 貴代枝議員

問 少子化、高齢社会の課題に市民と市の向き合いをどうするか。答 可能な限り住み慣れた地域で安心して生活出来る支援必要



交流がたくさんできる子育て支援センター

問 出産から学校卒業まで総合的に支援し、子育てしやすいまちをめざすとは。健康福祉部長 子育て支援センターに、相談ができる臨床心理士、子育て相談員を配置し相談業務を充実させる。学校関係では、北御牧地区に小中一貫教育を実施し、市費の講師の加配など

問 障がいを抱えながら高齢になっていく皆さんを支えている家族の高齢化への対策、支援をどのように行っていくか。特に、精神に障がいを持つ皆様への支援、就労や居場所づくりも含め、対策が遅れると考へるが。

問 介護保険制度では、介護を在宅でとスタート。高齢者は可能な限り在宅を希望している。在宅家庭介護の推進に対する考へ方を伺う。男性介護者に対する施策はどうか。健康福祉部長 可能な限り住み慣れた地域で安心して生活を送れるよう本人や介護者へ様々な公的支援が必要と考へている。男性介護者は百数十世帯と推測。ケアマネと連携を密に状況を掴みながら相談に乗っていく。



ワイン用ブドウ栽培状況

問 市は、これまで千曲川ワインバレー構想を進めてきた。県はワインバレー構想の中で、産業振興を全面的に支援し、ブランド力の向上を図るとしているが、市の取り組みはどうか。産業建設部長 県は信州ワインのブランド力をアップする取り組みと、ワイン振

問 ワイン特区の認定を受けてから、ワイン用ブドウを栽培したいという問い

問 県は信州ワインのブランド力アップに取り組む



清水 新一議員

問 千曲川ワインバレー構想で産業振興をどう進めるか。答 県は信州ワインのブランド力アップに取り組む



上下水道局窓口

**問** 上下水道局窓口業務の民間委託によってよくなったとは。

**上下水道局長** 人件費等で年間600万円の節減、休日・夜間の納付窓口の開設、閉栓時の即時精算システム、導入等収納率と住民サービスの向上になっていると考える。

**問** 民間に委託した当初の目的は達成されているか。

**上下水道局長** 民間ノウハウを生かした親切丁寧な窓口業務により、きめ細やかなサービス、人件費の削減、収益性の確保等当初の目的は達していると考えている。

**総務部長** このシステムは事業仕分けのように外部の組織を使って行うわけではなく、評価結果を数値、達成率等も出し、市民にもわかりやすい評価結果を目指していく。



蓮見 喜昭議員

**問** 上下水道局窓口業務の民間委託の効果は

**答** 人件費等で年間600万円節減できた



窪田 俊介議員

**問** ごみ減量化にどう取り組むのか

**答** 生ごみ処理システムの構築を具体化する



東部クリーンセンター

**問** 広域連合の統合ごみ処理施設計画に合わせて、市独自のごみの減量が課題だが、どう取り組むのか。

**市長** 東御市は年間3846トンまで可燃ごみを減量させる必要がある。市民の皆様が努力いただき、平成18年度は全体で5280トンあったものが

平成22年度では4869トンにごみの量が減ってきた。しかし平成23、24年度と増加傾向となっている。これらの実態を踏まえて東御市に適合した生ごみ処理システムの構築のため、平成25年度に生ごみ処理システムと建設地の決定をして、平成26年度は施設設計へと計画

を進め、東御市の最重要課題として位置付けて全力で取り組んでいきたい。

**問** 年間約1000トンの可燃ごみ減量は市民の協力を得なければ実現できない。説明会などの開催を検討すべきではないか。

**市民生活部長** 東御市としても、上田地域広域連合の資源循環型施設設計計画や、市のごみ減量化計画案について、できることから説明責任を果たしていきたい。広域連合事務局と連携し、出前講座を発生させたような形で説明して意見を伺っていききたい。そうした中で東御市に適した生ごみ処理システムを市民協働で作りに上げていきたい。



三縄 雅枝議員

**問** 学校給食におけるアレルギーの実態と対応は

**答** 小学校で27名・中学校で24名強いアレルギーを持つ子は1人



北御牧小学校ランチルーム

**問** 昨年調布において食物アレルギーによる死亡事故が発生した。市において食物アレルギーに対する実態と対策はどうか。

**教育次長** 文科省の学校マニユアルに基づいて児童生徒の把握、学校給食での対応、アレルギー症状への対応を定めている。アレルギー

の対策と考える。住民主体でというばかりでなくもう少し具体的な提案があってもよいのではないかと。市長 何をやるのか、金がいくら来るのか、人的支援はどうなっているのかという議論の前に、自分達の地域をどういう地域にするのかという事があって、初めて誰が何をなすが決まる。

**総合支所の議会棟を公文書館にしては**

**問** 各自治体において公文書館の設置が進んでいる。市においても総合支所の議会棟を公文書保管所としてはどうか。

**総務部長** 総合支所の今後の在り方等具体的に検討していく必要がある。



田中児童館

**問** 12月議会の際、4人の同僚議員より放課後児童の居場所についての質問があったが、その後市として何か取り組みをしているのか。

**健康福祉部長** 児童館児童クラブにおいて小学校6年生までの受け入れが出来ないかという質問が多かつ

たが、安全確保のため通年利用は原則として小学校3年までとする。

**問** もともと児童館は6年生まで利用出来たが、人数が多くなったからといって今まで預かったものに制限を設けるとするのは理由にならないと考える。

**健康福祉部長** 子供を育て

**体罰について**

**問** 市内小・中学校で体罰と思われる行為は確認されているのか、また体罰に対する対策はしているのかどうか。

**教育次長** 東御市では2月22日に調査を実施し集計中である。

**問** いじめも体罰もアンケートをとることよりも、教育現場を知ることが解決策だと思いがどうか。

**教育次長** 実務に支障を来すため、日常的に足を運ぶのは困難である。

**問** 高学年の放課後の居場所を確保できないか

**答** 教育委員会と市の行政が一緒に考えてみる。

るのは家庭だけではなく、地域、行政、あるいは学校が協力しなければならぬ。放課後児童の居場所については、今後検討する。

小学校区単位の地域づくりの取り組みは、平成23年度に滋野地区をモデル地区として始まり、昨年度は北御牧地区でも始まりまし

た。市は、今年度から自主的な地域づくりの全学的推進をめざし、地域づくり支援の設置や地域組織への支援金制度の新設など、必要な予算計上を行いました。

地域づくり支援の具体的な内容等に質問が出されました。

**問** 滋野地区では2年間かけて地域づくりの会を進めてきた。他の4地区で進めるにも事前の準備を経なければ進まないと考えがどうか。

**答** 滋野地区の2年間で、行政が提示すべき課題、地域が自主的に考えるべき課題の大半は見えてきた。全

的に進める上で参考にしているが、各地区で事情は異なるため、型を押し付けることはしない。

**問** 地域づくり支援員と社会教育指導員の役割が似通っているが、住み分けをどう考えているか。

### 小中一貫・連携教育の推進について

平成25年度からスタートする北御牧小中一貫教育について説明が行われ、授業内容、推進委員会、全学的な展望について質問が出されました。

**問** 小5からの施策の中で、算数についてはクラス分けということか。

**答** 「ゆつくり」「ぐんぐん」など3クラスを設け、児童が選択してコース別とする。

**問** 増員する教員はどのような動きになるのか。

**答** 中学校に一名加配して、その先生がコース別算数の時間に小学校へ入る。

**問** 推進委員会の構成はどのようなものか。

**答** メンバーは小中PTA代表や地域代表など約20名である。

**問** 保護者との合意形成の進捗状況はどうか。

**答** 保護者対象の説明会

で、当初、市主導への戸惑いもあったが、理解いただいたと思う。

**問** 地域の力を活用する必要はあるが、推進委員会の立上げが遅れていないか。

**答** 教職員で一貫教育の

### 川西赤十字病院運営費負担について

地域医療の重要な役割を担う川西赤十字病院の、運営費負担について説明がありました。

平成25年度の補助総額は8千万円とし、構成市町で負担割合を決めて拠出します。東御市の負担率は10%で800万円になります。

3月議会では、この予算と負担率を変更する規約を可決しました。

**問** 運営費の負担率は、どのように算定したのか。

**答** 負担率は人口割と利

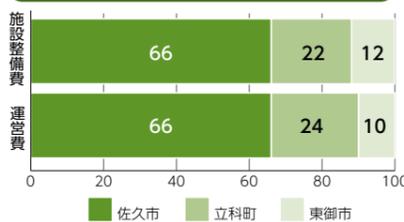
検討を進めた結果、地域との連携や地域が中心という考えが重要であると認識が広がってきた。一貫教育づくりを、推進委員会立上げをしながら進めて行こうという段階である。初年度は、

コース別学習など最低限の内容を実施していく。推進委員会を通じて、いままでの教育活動に良いものを、少しずつ取り入れていく。

用割の平均値である。現在、施設管理費の補助(平成28年度までの計画)を行っているが、負担率は利用割30%・人口割70%で算出している。東御市の施設管理費の負担率は12%になる。しかし運営費に関しては、利用割を重視して、人口割50%・利用割50%として算出した。運営費の負担率は10%となる。

**問** 地域の大事な病院である。運営で赤字だが、施設も古くなっている。改修計画はあるのか。

川西赤十字病院への補助負担率



**答** 現時点では大きな改修予定は聞いていない。介護、一般病床の数を改善するなど聞くが、3月中に報告される予定である。本来は経営計画をもとに検討するべきだが、間に合わず、負担率の設定を先行した。

## 地域づくり活動の支援策の概要

### 平成25年度支援策 1

#### 地域づくり支援室の新設

地域づくりに係る業務を統合して、小学校単位の地域づくりの推進をはじめ、各種地域づくり団体の総合窓口として活力ある地域づくりを支援。

##### 業務の概要

- ①まちづくり協働の推進に関すること
- ②自治推進委員会に関すること
- ③市民活動支援に関すること

### 平成25年度支援策 3

#### 地域づくり活動等推進 交付金の交付(24年度要綱策定済)

小学校区単位の地域における住民、関係者等の相互の交流、情報交換等を通じた多様な意見集約に基づく地域特有の課題の解決や地域づくりを自らが行うことを目的として当該住民、関係者などの主体的な連携により組織された団体等で市長の認めるものに対し交付する。

### 平成25年度支援策 2

#### 地域づくり支援員の配置

自主的な話し合いを通じて、組織や将来計画などが整った地区、それらを研究する地区で、地域活動に必要な人的支援を必要とした場合に支援員を配置する。

平成25年度は滋野、北御牧地区に配置し、他地区については推進状況により順次配置する計画である。

## 市内5つの小学校区ごとの地域づくり

小学校という地区共通の範囲を単位とした、従来から深いつながりのある区域において、区を越えた連携で、いつまでも元気で持続可能な地域づくりを考える。

取り組み内容(主なもの)

- 地域資源の掘り起こしや活用
- 地区の将来像の検討
- 区では解決できない地区の課題の集約と解決
- 地区全体を総括できるような組織づくり

## 話題を追って

### 新たに滋野保育園が4月2日に開園

旧滋野保育園・東保育園が3月に閉園しました。新保育園は大石から中屋敷へ向かう市道沿いの南面傾斜で陽当たりのいい場所に、111名の園児を迎えスタートをきりました。



#### 旧東保育園

昭和54年4月1日▶開園

●旧東部町では最後に誕生した保育園で、乙女平・金井・加沢とそれぞれ違った小学校区の場所にまたがり、立地を生かし約30年園児を見守りました。

#### 旧滋野保育園

昭和38年10月1日▶開園

昭和41年4月▶滋野小学校隣接地へ移転

昭和62年12月▶全面改築

●旧東部町では2番に誕生しました。小学校に隣接し立地条件も良く、滋野地区を代表する保育園として約50年園児を見守りました。

# わかりやすい「議会だより」 開かれた議会へ 視察交流しました



親しみやすくする工夫は…  
茨城県・高萩市議会が東御市へ

**去**る1月31日茨城県高萩市議会「議会だより編集特別委員会」一行が東御市庁舎に来庁し、私も議会広報調査特別委員会と情報交換会を行いました。市民に開かれた議会を実現するために、よりよい議会だよりを目指して、これまでの取り組みを、パワーポイントを使って視察団の皆様にお伝えしました。高萩市では、開かれた議会に向けた議会改革の一環として平成24年9月から議会を生中継し、録画配信やインターネット中継を開始したそうです。



同市は3・11東日本大震災により甚大な被害を受け、ピーク時は4845人が14カ所に避難されたそうです。ひと月程で避難所は閉鎖されましたが、庁舎建設費用を除いて、約40億円の復旧額が見込まれたとのこと。今回の被災を契機に、市民みんなで心をひとつにして力を合わせて乗り切っていくと議員団諸氏の熱心さが伺われました。

**「分**かりやすい広報誌」と注目していた埼玉県宮代町を訪問し、議会広報委員会の皆さんと交流しました。町ですが、東御市とほぼ同じ人口規模。役場は木造で明るい雰囲気。広報委員会の委員を長く務めたという中野松夫議長と丸藤栄一広報委員長ら5委員がそろって対応してくれました。同町の議会広報誌はオンラインカラーが特徴。「わかりやすくする工夫」として、①ありのままに分かりやすく②町民が知りたい情報、町民に知らせたい情報を選択③文章は簡潔にし、難しい漢字は使わない、など9項目。「目で見てわかる」ということで「本文40%、見出しと写真で40%、余白20%」を紙面配分の基本とし、レイアウトを重視しているという話はとても参考になりました。写真も含めすべて議員の手づくり。女性委員の「難しいですけど、やっていて楽しくなりました」とのお話に、そ



の心意気を学ばなければと  
思いました。

いつも市民の目線で…

埼玉県・宮代町をたずねました



▲宮代町の議会だより

## 全部さらけ出す・すべてをオープンに

### おどろきいっぱい 東京都・町田市の議会改革



**東京都町田市**  
人口▶42万5000人  
面積▶71.6平方キロ

- 昨**年7月に新庁舎が完成し明るい雰囲気。市議会関係の機能も一新。説明していただいた藤田学副議長は町田市の議会改革について「全部さらけ出す、全部公開する」と特徴を語っていました。
- ▽議会傍聴の受付簿廃止
  - ▽請願人が意見陳述の公開
  - ▽本会議・常任委員会の審議をインターネット中継
  - ▽本会議場の電子評決（議



自席のボタンを押すと即時に表示される電子評決掲示板

員の議案の賛否を表示）  
▽パンフ「市議会を見いこう」を発行し、傍聴のお誘いをしている。

議会事務局の説明では、この10年間に30項目以上の改革を実施してきたということです。

本会議場を見ましたが、ガラス張りの「お子さま連れ傍聴席」もあるのはちょっとビックリ。市内の中学生が「議員になり市長を相手に質問する」中学生議会「も開いているということ」です。

【2月6日視察】

【2月7日視察】



**埼玉県宮代町**  
人口▶3万3000人  
面積▶16平方キロ



**茨城県高萩市**  
人口▶3万人  
面積▶193.6平方キロ

## 『地域の力を再確認』



大塚君和 さん  
(東上田区)

3月11日にこの原稿用紙に向かい筆を執っています。私たち日本人にとって忘れることのできない大規模震災からちょうど二年がたちました。

つかまり立ちがやっとだった娘も元気に家中を飛び回り、それから長男も誕生し、私の膝に絡まり執筆の邪魔を競う姿にふと心が温まり、幸せを感じます。どんなに辛く厳しい出来事があっても、日常は平等にその時を刻むのだなあと感慨深く思っています。

さて、今年度、私は地域の消防団では東上田部の部長を仰せつかり、その責任の重さに身の引き締る思いです。仕事柄、地域の皆様に大変お世話になっておりますので、その恩返しの一端になればと思います今回の役職を引き受けさせていただきまし

た。

その中で一点、懸念している事項があります。それは消防団員の固定化、高齢化です。消防団独自で勧誘活動を続けてまいりましたが、25年度新入団員は0人という結果になってしまいました。定年制が廃止され、その後、団の平均年齢は年々上がっていきばかりです。勧誘に歩いても、団のコミュニティだけでは限界があり、新入団員候補の方とお話しさせていただいても、お仕事の都合はさることながら、「いつやめられるのか」という懸念が先立ち入団を断られます。これは現在懸命に団活動に励んでいる団員にとって非常にやるせないことです。

これからは今一步地域の皆様

の知恵とご助力を借りて団の活動を活性化させ、地域の力を再確認してまいりたいと考えています。その上で、子供たちが安心して暮らしていける地域づくりに寄与していければと思います。

最後に震災で犠牲になった皆様に哀悼の意を示すとともに、子どもたちの明るい未来を祈りつつ、筆を置かせていただきま

明日の東御市を拓く市議会◆あなたも参加しませんか…

第2回定例会における一般質問は  
6月に予定されています。

議会傍聴へようこそ

**ご意見・ご感想**

市議会だよりについて、ご意見・ご感想また、市議会へのご意見・ご要望もお受けしていますので、下記までお寄せください。

【発行・お問い合わせ】  
**東御市議会・事務局**  
〒389-0592 長野県東御市東281-2  
**TEL.0268-64-5810**  
**FAX.0268-62-5040**

**広報委員**

山崎 康一	佐藤 千枝	窪田 俊介	平林 千秋	横山 好範
		青木 周次	依田 俊良	若林 幹雄
			長越 修一	

**あとがき**

3月議会は、予算や条例など50件にものぼる課題の多い議会でした。舞台が丘整備計画をめぐっても大きな議論になりました。これを、どう分かりやすくお伝えするか。この間、茨城県高萩市から「東御市の経験を聞きたい」と視察に見え、私たちも埼玉県宮代町にでかけ、学んできました。どこも「住民のみなさんが手にしてくれるか、読んでもらえるか」と悩みながら編集しています。さて、今号は勉強の成果が少しは生かされているでしょうか。ぜひご意見をいただきたいと思えます。

議会情報を市民にお伝えするのは、『市議会だより』のほか、ホームページなどもあります。これらの改革もすすめるよう研究していきます。

平林 千秋

再生紙を使用しています  
PRINTED WITH SOY INK  
資源保護のため、リサイクルしやすい大豆油インクを使用しています。

【東御市議会広報紙】 第37号 ◆発行/東御市議会 ◆発行責任者/東御市議会議長 青木 周次  
◆発行日/平成25年5月1日 ◆編集/東御市議会広報調査特別委員会 印刷/中沢印刷株式会社